



発行所  
日本聖公会 東北教区  
仙台市青葉区国分町2-13-15  
TEL 022-223-2349  
FAX 022-223-2387  
URL <http://nssk-tohoku.com/>

シリーズ「東北の信徒への手紙」  
**新しく創造される**

司祭 パウロ 渡部 拓

「割礼の有無は問題ではなく、大切なのは、新しく創造されることです」(ガラテヤの信徒への手紙6章15節)。このみ言葉は2000年前のイエス様の復活と聖霊降臨から始まった教会が、その初期の宣教の現場にあって、過去のユダヤの伝統や決まり事(律法)の間で四苦八苦しているのに対して、パウロが送っている言葉です。これは同じ教会の中にあってもいまだ古い伝統(割礼)に拘り、新しい一步を踏み出せずにいる人々がいることに対して、本当に大切なことは主イエスの十字架の他に誇るものが無い、新しい道へと創造されていくことこそが大切であるとの教えであると思います。

それはまさに古いものが一度壊されて、新しいものが創造され始めていく。そんな最初期の教会が歩んだ道を示唆するものであり、現在の私



たちもまた、その新しい創造されたものとして同じ道に入っているのでしょうか。しかしここでふと思うことがあります。それはこの聖書の中で起こっている「新しく創造されること」とは、実は今も起

こり続けていることであり、起こり続けていなければならぬのではないかということなのです。

料理人や伝統芸能・工業などの世界に「守破離」という言葉があるそうです。これは人が修行をしていく過程を示すもので、「守」はひたすら伝統を守りその教えを吸収すること。「破」はその伝統や教えを一度壊すこと、そこに拘らないで取り組むことを意味し、「離」で自分自身という「個」を完成するということだそうです。

ここで面白いのは、こういった伝統あるものについて外から見る私たちにとつてそれは、実はあまり変わっていないように見えなことが多くという点です。それは長い伝統があるものほどそう見えます。でも実際にはその伝統の中では、脈々と「守破離」が繰り返されて、新しい破壊と創造が行われている。目には見えにくい部分で確かに「変わり続けている」からこそ、それらのものは、現在を生きる私たちにも受け入れられ「良いもの」とされているということなのです。

これは私たちもそうなのではないでしょうか。私たちの教会・教区あるいは個人の信仰にはそれぞれ歴史があり、そこには伝統と呼べるものもたくさんあることでしょう。でもそれは決して「不変」のものでも「不壊」のものでもなく、「変わり続けていく」新しく創造され続けていく「こと」が大切なのだと思います。

またもう一つ大切なことは、この「守破離」をなしていく上で大切なのは「確かな心」がなければならぬということです。どんな伝統あるものでも、そこに確たる「心」がなければ、「守破離」の過程でそれは全く別のものに変質してしまうことでしょう。でもそうはならなかったから、それらは今も存在し続けている。そしてそれは私たちの教会にあっては、最も確かな「主イエス」という「心」があることも示しています。どんなに私たちが、それぞれ「守破離」をして、そこに主イエスという「心」があり続ける限り、それは「良いもの」であり続けることなのでしょう。

今私たちは色々な意味で過渡期を迎えているように思います。そんな時代の中で私たちが「イエスの弟子」として立ち続けるためにも、一度それぞれ「守破離」と「新しく創造されること」に思いを寄せてみては如何でしょうか？

(福島聖ステパノ教会 牧師)

日本聖公会

第67(定期)総会報告

5月31日～6月2日

議長挨拶

日本聖公会首座主教

主教 ルカ 武藤 謙一

本日、ここに日本聖公会第67(定期)総会を開催するにあたり、日本聖公会各教区から

ご出席くださいました主教議員、聖職代議員、信徒代議員の皆様、管区事務所総主事を始め管区諸委員の皆様から感謝いたします。また本日、来場くださいました来賓の皆様にも御礼申し上げます。また総会のために準備を進めてくださった書記局、管区事務所の皆様にも、さらにこの総会のために祈りくださっている全国の信徒・教役者の皆様に感謝いたします。2020年2月以来の新型コロナウイルス感染症により、過去2回の総会はオンライン開催となりましたが、今回は4年ぶりに対面での開催です。感染対策に留意しながら、皆様と直接お会いし、共に礼拝し、学び、協議し、語り合うこと

を嬉しく思っています。この三日間、それぞれの報告を通して、この2年間にわたしたちに与えられた多くの恵みを主に感謝したいと思います。また一つひとつの議案審議が今後の日本聖公会の歩みを共に考える時となりますように、聖霊なる神の豊かな導きと祝福を祈るものです。

この2年間に振り返りますと、ワクチン接種がすすみ落ち着いてきたようにも思えますが、新型コロナウイルス感染症は、わたしたちの日常生活、教会生活に大きな影響を与えています。礼拝の休止や中止、また集会の規模縮小や中止や延期はどの教区、教会においても経験されたことでしょう。オンラインによる会議や研修も当たり前になりつつあり、時間的、経済的な利便性がありますが、同時にその限界も感じるようになってきます。教役者の皆さんは礼拝の休止、中止のなかでも福音を届けるために努力されたことと思います。また面会が適わない病者、高齢者の方々に対してそれぞれに配慮されていることと思います。こ

れからも続くと思われるコロナ禍での教会の礼拝、宣教、牧会について、互いの体験を分かち合い、知恵を出し合っ

てまいりたいものです。今年2月24日に始まったロシアによるウクライナ軍事侵

攻は現在も続いています。破壊され廃墟となった街、家族や家を失い泣き悲しむ人たち、地下室に避難している子どもたち、ロケット弾や機銃の発射音を毎日のようにテレビを通して視聴しています。2度の世界大戦を体験し戦争の悲惨さと平和の尊さを学んだにもかかわらず、21世紀の今日、再びこのような光景を目にすることになります。多くの皆さんが平和の回復と犠牲者の魂の平安を祈っておられることと思います。一方的な理由での侵攻、言論や情報の統制などロシア政府が行っていることは、かつて日本政府がアジア諸国に行ってきたことと重なります。今後日本でも「他国からの脅威」がさらに強調され、防衛力強化の加速や沖縄の米軍基地固定化が懸念されます。唯一の被爆国にある教会として、わたした

ちはこれからも主イエス・キリストの福音に基づき「平和の器」としての働きを担っていきたいものです。この2年間の日本聖公会の歩みを振り返りたいと思います。第65(定期)総会において宣教協働区と伝道教区制に関する日本聖公会法規一部改正が可決されました。それに基

づいて東日本、中日本、西日本

の3つの宣教協働区で協働委員会が開催されています。教役者不足、信徒の高齢化と信徒数の減少、財政の逼迫など各教区が抱える共通の現状のなかで、これからも日本聖公会が日本の社会のなかで責任を持って宣教していくために、将来の教区再編も視野に入れながら、宣教協働区の中で運営・宣教・牧会に積極的に取り組もうとするものです。ご存知のように北関東教区は昨年4月に開催された第66(臨時)総会での承認を得て伝道教区となり、東京教区とともに新たな教区設立を目指して協議を進めています。京都教区と大阪教区との教区合併は、昨年11月開催の大阪教区教区会で可決できなかったこととは残念なことでしたが、今後も宣教協働が継続されるなかで新しい展開がなされることと信じます。必ずしも教区主教が定年退職を迎える教区は伝道教区になるということではありませんが、確かに今後の教区の在り方を考えるよい機会になると思います。宣教協働区を取り組みは始まったばかりですが、各教区、教会でも理解が深められ、教区再編も視野に入れた宣教協働がなされるよう各宣教協働区協働委員会の働きに期待いたします。

前回の定期総会で今年11月の開催を決議した日本聖公会宣教協議会は、1年延期されることになりました。新型コロナウイルス感染症の影響もありますが、2023年11月の開催に向けてより広く各教会の信徒の皆さん、教役者の皆さん、関連施設の皆さん、管区諸委員の皆さんの意見を汲み取り、より多くの皆さんとともにつくり上げる協議会としての実行委員会の願いによるものです。各教区・教会においても宣教協議会に向けて、実行委員会から

の呼びかけに応え、日本聖公会が宣教共同体として何を大切していくかを考え、宣教協議会においてその方向性を見出し、その意味ではすでに宣教協議会は始まっているとの意識をもち、それぞれの場で話し合ったことを実行委員会に伝えてくだされば幸いです。また2012年に開催された日本聖公会宣教協議会の「日本聖公会〈宣教・牧会の10年〉提言」について、各教区・教会においてこの10年を振り返り、その宣教の実りを分かち合うことも忘れてはなりません。日本聖公会の一つひとつの教会が、地域の人々の必要に丁寧に応え、地域の人々と共に、一人ひとりの命を尊び、命の絆を深める働きの更なる器となるための宣教協議会にしてまいりましょう。

本年3月31日付でナザレ修女会より、6月30日をもって閉院するとのお知らせが各教会に届きました。修女の皆さんは、高齢により修道生活を継続することが困難となり、今後は榛名の新生会で生活するため、閉院することを決断されました。ナザレ修女会は今年設立85周年を迎えますが、常に日本聖公会の各教区・教会、また個人を覚えてお祈りくださり霊的に支えてくださったこと、修道院や各地での黙想・静想指導、ウェファース事業や活動支援など、これまでナザレ修女会が日本聖公会のために果たしてくださった様々なお働きに対して心より感謝申し上げます。また法人解散後の残余財産をすべて日本聖公会に寄附していただくとの申し出を受けていることも感謝いたします。それに関連する議案が本総会に提出されていますが、譲渡される財産を日本聖公会の宣教のためによりよく用いてまいります。ナザレ修女会がなくなることは残念であり寂しく感じますが、修女の皆様が今後もお健やかに過ごされますようお祈りいたします。

今年4月23日、北海道教区にマリア・グレイス笹森田鶴主教が誕生したことは大きな喜びでした。日本聖公会および東アジアの聖公会において、最初の女性の主教です。女性の聖職位に関しては日本聖公会の中に現在も異なった立場があります。主教会は2022年4月1日付「北海道教区主教按手式・就任式を迎えるにあたって」のメッセージを出しました。そこでも述べていますが、立場の違いを超えて共に宣教に励むために積極的な対話が求められます。「日本聖公会における女性の司祭按手に関するガイドライン」が各教区・教会で周知されるよう改めてお願いいたします。

また全聖公会中央協議会(ACC13)の呼びかけにより日本聖公会でも取り組んできた、あらゆる意思決定機関への女性の参画を促す「202230」は、今年が目標年となります。関係者の努力によってこの取り組みは少しずつ知られるようになってきました。各教区の常置委員会や総会代議員の比率をみますと、今後も意識変革の取り組みが求められます。また現在、女性に関する課題の担当者、正義と平和委員会ジェンダープロジェクト、人権問題担当者、ハラスメント防止・対策担当者のワーキンググループによって、全聖公会中央協議会(ACC17)から出された「アングリカン・コミュニケーション諸管区のすべての人——ことに子ども、青年、弱い立場の大人——の安全を高めるためのガイドライン」(セーフ・チャーチ・ガイドライン)の翻訳作業、日本聖公会に相応しいガイドラインの作成作業が行われています。これは教会が誰にとっても安全で安心な場所となるための取り組みであり、各教区・教会でも関心をもってくださるようお願いいたします。そして、ハラスメント防止研修のための動画と手引きが、管区の担当者により整えられています。著作権の都合上2年間の限定ですが、各教区・教会において広くご活用ください。

聖公会年金について、2022年3月に冊子「日本聖公会年金制度Q&A」が年金員会から教役者の皆様に送付されました。聖公会年金は毎年年金資金から補てんして維持しています。聖公会年金は毎年年金を維持し続けていくため、2024年4月から平均支給額を実質15%減額するための議案を提出しています。年金委員会は、日本聖公会の宣教・伝道を担ってこられた退職教役者とその配偶者への年金制度を継続するために熱心に取り組み、その維持に尽力しています。年金委員会報告、また議案説明をよくお聞きください、ご理解くださるようお願いいたします。管区事務所がある日本聖公会センターは建築から30年が経過し、東京教区との利用契約を更新いたしました。これを機に今後の在り方について東京教区と検討してきました。そして牛込聖公会聖バルナバ教会がすでに教会活動を終えていることもふまえ、この建物を用いて新たな収益事業を行い、その収益を主に年金資金に繰り入れることが提案されています。東京教区では今年3月に開催された教区会において、日本聖公会センターおよび牛込聖公会聖バルナバ教会を管区の働きのための無償貸与することを承認してください。改めてご理解とご協力に感謝いたします。この件についても議案が提出されていますが、積極的な審議をお願いいたします。

大韓聖公会はわたしたちにとって大切な宣教のパートナーであり、最も親しい友人であります。日韓宣教協働20周年を機に始まった宣教協働者招聘事業は2022年1月をもって終了しました。この間、20名以上の大韓聖公会の聖職が日本聖公会の各教区で働いてくださったことに改めて感謝いたします。また招聘期間(最長3期9年)終了後も、日本聖公会の教区に移籍して、あるいは教区籍はそのままになお各教区で働いてくださる聖職が数多くおられることは、本当に有り難いことであり感謝に堪えません。2024年には日韓聖公会宣教協働40周年を迎えますが、さまざまなレベルでの宣教協働がこれからも継続され、東アジアの平和という共通の宣教課題を担っていききたいと思えます。

世界の聖公会に関して、2020年6月にアレキササンドリア聖公会の誕生に続き、昨年9月にはモザンビーク・アングラ聖公会が42番目の管区として誕生しました。今年3月にはロンドンで首座主教会議が開催されました(わたしはオンラインでの部分参加でした)。1つのテーマは次期カンタベリー大主教選出委員会のメンバー構成に関わることで、カンタベリー教区の選考委員数を減らし、英国聖公会以外の委員(他管区の委員)を増員するというものでした。結果的には賛成意見が多かったようですが、ヒュマン・セクシアリティをめぐる聖公会内の対立が背景にあることを知りました。日本聖公会主教会としてはこの提案に反対し、従来通り誰がカンタベリー大主教に選出されたとしても、その方を全聖公会の一致の象徴として尊重してまいります。

新型コロナウイルス感染症のために2年間延期されたランベス会議は今年7月26日から8月8日まで、「God's Church for God's World」(「神の世界のための神の教会」)をテーマにカンタベリーで開催されます。昨年6回にわたり月に1度、「Bishops Conversations(主教対話)」という小グループでのオンラインプログラムが行われ、聖書の学び、リーダーシップや社会的課題について分かち合い、また今年2月から4月まで毎月「Ministry in a Conflicted World」(「葛藤する世界における宣教」)をテーマに分かち合い、ランベス会議に備えてきました。今回のランベス会議には165カ国から約700名の主教たちが参加すると聞いています。日本聖公会からは7名の主教と4名の配偶者が出席の予定です。世界の聖公会の主教たちが一堂に会し、共に祈り、み言葉を分かち合い、また交わり、宣教・伝道、和解、奉仕、弟子訓練等について体験を分かち合い、アングリカン・コミュニティの絆を深め、これからの世界の聖公会の宣教の在り方を考える機会となります。カンタベリー大主教はランベス会議のために祈ってほしいと呼び掛けています。皆様のお祈りのうちにお覚えいただければ幸いです。

これから三日間の総会が始まりますが、聖霊の豊かなお導きを祈りつつ、わたしたちに委ねられた務めを忠実に果たし、この総会を通しても主

のご栄光を現すことができま  
すよう、皆様のご協力お願い  
いたします。



日本聖公会第67(定期)総会  
は、5月31日(火)〜6月2日  
(木)、開催されました。東北  
教区から吉田雅人主教、聖職  
代議員 長谷川清純司祭、越  
山哲也司祭、信徒代議員 赤  
坂有司氏、畠山秀文氏の5名  
が出席しました。

開会礼拝後にはナザレ修女  
会の順霊母よりご挨拶があり、  
今年の6月30日で閉院となる  
ナザレ修女会のこれまでの歩  
みを振り返りながら感謝の言  
葉を述べられました。

議案審議では、37の議案が  
上程され、すべて承認可決さ  
れました。以下主な議案につ  
いてご紹介いたします。

**第5号議案 「日本聖公会建築  
融資金」の一部を改正する件**  
これまで、建築金融資金に  
よる融資は、「日本聖公会内の  
教区・教会および宗教法入立

の幼稚園・保育園」に限られ  
ていましたが、このたび、学  
校法人立および社会福祉法人  
立の幼稚園・保育園・認定こ  
ども園であっても、関連教区  
がその融資・返済計画につい  
て同意する場合は融資申請が  
可能になることが決議されま  
した。

また、2020年10月の第  
65(定期)総会の「原発のない  
世界を求める声明」賛同決議  
を受け、省エネルギーや再生  
可能エネルギーの導入を目的  
とした建物設備更新(エアコ  
ン入れ替えや太陽光パネルの  
設置等)については、無利息  
で上限を300万円として融  
資することが、「日本聖公会建  
築融資金融資金利用の手引  
き」に追記されました。

**第9号議案 基本財産設定の件  
(ナザレ修女会残余財産の寄附)**  
2022年6月30日の感謝  
礼拝をもって閉院する宗教法  
人日本聖公会ナザレ修女会で  
すが、法人としての解散・精  
算(残余財産の寄附)の完了  
には所轄庁の認証が必要であ  
り、認証が完了した際には、  
感謝をもって日本聖公会の基

本財産として設定することが承認されました。

**第13号議案 宗教法人「室根聖ナタナエル教会」を宗教法人「日本聖公会東北教区」に合併することを承認する件**

（昨年東北教区第105(定期)教区会で可決された議案が日本聖公会総会で承認されました。これにより正式に室根聖ナタナエル教会の宗教法人格を解散し、日本聖公会東北教区と合併する手続きに入ります。

**第27号議案 「日本聖公会宣教協議会」開催延期を承認する件**

今年2022年11月に予定されていた宣教協議会ですが、コロナ禍である状況を鑑みて開催時期を1年延期することが、総会において承認されました。新たな日程は、2023年11月10日(金)～13日(月)の3泊4日、山梨県清里にあります清泉寮で開催される予定です。

**第28号議案 日韓聖公会宣教協議40周年記念大会開催に関する件**

1984年日韓聖公会が

公式に宣教協働を開始してから来年で40周年を迎えます。これからも日韓聖公会が共に宣教協働していくための展望についての協議会を来年開催することが承認されました。

定期総会ごとに行われる首座主教選挙の結果、ルカ武藤謙一主教(九州教区)が再任されました。どうぞ引き続き代祷で私たちの教区主教ヨハネと首座主教ルカのために祈りいたしましょう。

また、常議員(日本聖公会責任役員・武藤謙一首座主教は代表役員)選挙では、主教議員として高地敬主教(京都)、笹森田鶴主教(北海道)、聖職議員として、土井宏純司祭(中部)、大岡佐代子司祭(京都)、上田亜樹子司祭(東京)、信徒議員として赤坂有司氏(東北)、池住圭氏(中部)、村井恵子氏(横浜)がそれぞれ選出されました。今回の選挙では、常議員9名中5名、女性が選ばれ、日本聖公会史上初めて女性議員の比率が男性議員の比率を上回りました。これは、2012年

日本聖公会宣教協議会における提言「この世に仕える教会の形成のためには、様々な立場の人びとが、教会・教区・管区の意味決定機関へ平等に参画することが求められます。その一歩として、女性の比率が高まるよう働きかけ、2022年までに少なくとも30%の参画を実現しよう」という「202230運動」の裏が見事に現れました。常議員の選挙結果は、今総会の大きなトピックだと思います。また、管区事務所総主事は、

主教会指名で矢萩新一司祭(京都教区)が再任され、総主事5期目となります。最後になりますが、来年3月31日を持って定年退職を迎えられる吉田雅人主教に対し、謝意を表する動議が提出され、決議されました。以上

**東日本大震災被災者支援プロジェクト報告**

◆5月は、毎週木曜日の「閑上買い物支援バス」は3回行われ延べ21名が利用しました。福島県新地町で毎月定期的に開かれている「水曜喫茶」は11日に8名、「第97回広畑お茶

会」は27日に16名の方々が集いました。

◆東日本大震災10周年の昨年、2011年3月11日の大地震と巨大津波そして東京電力福島第一原子力発電所爆発事故の未曾有の経験と10年間の被災された人々と支援者たちの思いを編集刊行し、教会また学校単位で全国に配布しました。しかし、教会備付では読まれにくい事が判明し、一人でも多くの方にお読みいただくために、5月末、震災証言集を増刷り再配布しました。教区内教会では信徒ご家族単位で、また聖公会関係学校では学生、生徒たちに手にしてもらいたいと望んでいます。東日本大震災被害の歴史と、被災された人たちの体験とこれからの、いつまでも忘れないでほしいと願って止みません。

**常置委員会報告(第7回・5月18日)**

◇協議事項  
(1) 信徒奉事者任命について…能代キリスト教会信徒奉事者の諮問について適当と認めて推挙。

(2) 宣教強化資金運用グループでの融資申請案件審議結果について…学校法人聖公会聖パウロ学園大館幼稚園より申請のあった融資について。宣教強化資金運用グループの融資承認決定を受け、これを承認。

(3) 次期主教選挙を行うかどうかの意見集約への道程に関する件…4月9日実施の研修会アンケート結果を分析。常置委員会としての見解を纏めると同時に教役者会と意見交換を行い、準備を進めていくことを確認。北海道教区とも6月7日(火)の合同常置委員懇談会を通してお互いの理解を深めていくことを確認。

**『東北教区成立100年の歩み』訂正**

- P57右段上から4行目 (誤) 司祭 横山 豊師
- (正) 司祭 横田 豊師
- P43年表下から6行目 (誤) 仙台「北厨川幼稚園」
- (正) 盛岡「北厨川幼稚園」
- P144年表下から9行目 (誤) 青森 聖パウロ幼稚園
- (正) 盛岡 聖パウロ幼稚園



仁王幼稚園 園長  
クリスティーナ 曾根 美砂

仁王幼稚園では、毎朝の職員礼拝で、テゼの日課から聖書のみことばに触れ、片柳弘史神父著書「やさしさの贈り物」の言葉にその日のパワーをいただいでそれぞれの持ち場へ出ていきます。8時半になると「おはようございませす！」の元気な声と共に50人程の園児たちと私たちの楽しい一日が幕を開けます。

毎日の生活の中には何度も「祈り」の場面が出てきます。神様が私たちを守り導いてくださることに感謝し、自分のことだけではなく周りの人のためにも祈る気持ち芽生えます。友だちや職員との交わ

りの中からは、自分のことも友だちのことも認め合い大切にできる心が育まれていきます。毎週金曜日には教会でチャプレンの司式による幼児礼拝が行われて、越山司祭様の聖書ワールドにワクワクドキドキしながら耳を傾ける私たちです。

お恵みは、子どもだけではなく保護者や職員にも与えられます。保護者の集まり「マルコ会」は、教会応接室で聖書を読み、そのみことばの中から育児(親子バトルなど?)や家族のこと、コロナ、貧困、アニメの中に聖書を感じるなど、おしゃべりの輪が広がります。他にも、保護者同士の楽しい集いにも幼稚園を開放し、先日もパンを作ってみました。グループが預かり保育室で和気あいあいと手作りの楽しさを体験しました。そして職員は、チャプレンとの園内研修において、教区の教育・保育グループ編集「保育の道しるべ」を用いて学びを得、それぞれが神様と出会えたことや、礼拝が子どもにも自分にも大切な時間であること、聖話の中に隠れている大切な教

えをいつか何かの瞬間に思い出すようであつて欲しいなど、振り返ると豊かな恵みが溢れ出しました。また、昨年度はオンラインで保育連盟保育者研修会が行われ、東北内に同じ教会の幼稚園・保育園の仲間がいることを再確認しました。私たちは、幼稚園というまきばの中に自分が気付かないうちに神様によって集められた小さな羊。ばらばらな様でいて一つであること。これこそが神様から委ねられた大きなお恵みです。「集まれることの喜び」もコロナによって改めて感じていきます。これから、仁王幼稚園がここに連なる全ての人にとっての愛のまきばであり続けたいと心から願います。



# YOUTH CAMP 2022

@ MORIOKA ST. PAUL KG

# 青年キャンプのご案内

会場：聖パウロ幼稚園 (盛岡市厨川)  
日程：8月11日(木・祝)～13日(土)

8月11日(木)	8月12日(金)	8月13日(土)
集合・開会礼拝 ワーク(キャンドル作り) 夕飯 入浴 就寝	起床・朝食 カナンの園訪問 ワーク 幼稚園に戻りBBQ 入浴 就寝	起床・朝食 ワーク(仕上げ) シェアリング 閉会礼拝 解散

対象：18歳以上の青年  
(信徒・未信徒は問いません)

参加費：10,000円

申込：QRコードをご確認ください



こんにちは！  
教区青年キャンプが3年ぶりに帰ってきました！今回のキャンプでは、改めて青年がお互いに「出会い」、まずはどこまでも「楽しい」時を肩肘張りずに過ごすことを、今の時代だからこそ実現したいと計画しています。

普段は教区・教会の行事にハードルを感じている人も、是非この機会にご参加ください！  
たくさんの方々のご参加を、心よりお待ちしております！！

教育・保育グループ  
青年部門一同

お問合せは教区事務所  
もしくは渡部司祭まで！





「御恵みに目を留めて  
感謝できますように」

八戸聖ルカ教会  
クララ 栗林 栄子



今から30  
年程前にク  
リスチャン  
の夫との結  
婚により教

会に導かれ、程なくして私も  
田崎主教より洗礼、堅信の恵  
みに預かり信仰生活がスター  
トしました。

当時は主日礼拝に集うと、  
今年の1月に天国に召された  
山路瑞彦先生がサーバーを務  
められていて、他にも信徒の  
皆さんが色々なご奉仕に勤し  
ておられました。

礼拝が終わると会館で昼食  
の準備が始まり、子どもたち  
もお箸を並べたり、テーブル  
を拭いたりして手伝います。  
聖ルカ祭では主教様の心温ま  
るお話をお聞きした後、八戸  
名産のウニご飯や菊の味噌汁  
を頂き、賑やかな祝会が催さ

れたことも良い思い出です。  
また日曜学校でも、我が家  
の子どもたちがお世話になり、  
私も行事のお手伝いと称して  
キャンプや餅つき会、イース  
ターエッグ作り等に参加させ  
ていただき、みんなで協力し  
て活動に取り組む楽しさを味  
わうことができました。

その様な教会を通じた生活  
を自然に例えるならば、教会  
は私にとって「里山」のよう  
な存在でした。老若男女礼拝  
に集い、交流を通して大人も  
子どもも談笑している輪の中  
にいる時、森林や田畑、種々  
の草花等様々な自然の要素で  
構成されている「里山」と教  
会のイメージが重なります。

「里山」の主は豊かな水を蓄  
えたイエス様です。教会とい  
う「里山」を歴代の司祭様始  
め信徒の皆さんが気を配り手  
入れをしてこられたから、今  
まで保たれてきたのだと改め  
て気付かされています。

私自身は、本当に迷いやす  
く何事にも時間がかかる性格  
ですが、「何事も思い煩っては  
ならない。ただ、事ごとに感  
謝をもって祈りと願いをささ  
げ、あなたがたの求めるとこ

ろを神に申し上げるがよい」  
(フィリピ4:6)と。婦人  
会の祈りのしおりに書かれて  
いたみ言に出会い、まず感謝  
して祈り願うことで気持ちが  
整理されることもありまし  
た。さらに、続けてきた仕事でも  
短時間の勤務ではありまし  
たが、子どもたちの支援に関わ  
る仕事をさせていただき、チー  
ムで取り組むことの多い現場  
で、「子どもたちを理解するこ  
とが出来ますように……」と  
祈り過ぎてきた日々は恵み  
であったと思っています。

これまで、主教様や司祭様  
のお説教から聖書の教えを生  
活に生かす知恵をいただいた  
り、信徒間の交流の中でお助  
けをいただいたりして歩ん  
できました。

「私の恵みはあなたに十分  
である。力は弱さの中でこそ  
十分に発揮されるのだ」(コ  
リント二12:9)というみ言  
葉から、これからも恵みに  
目を留めて感謝出来るよう祈  
りつつ、環境整備や日曜学校  
のお手伝い等自分が出来る小  
さなご奉仕をさせていただき  
過ぎていきたいと思ってい  
ます。

### 礼拝堂探検隊

礼拝堂にあるいろいろなもの、  
その意味を調べてみました。

(第21回 チャリス・パテン)

今回は  
聖餐式の  
時に聖別  
されたぶ  
どう酒を  
入れるチ  
ャリスと、  
パン(ウ  
エファース)を入れるパテン  
です。金または銀で作られて  
いますが、それは酸による腐  
食を防ぐためだそうです。

4世紀に入ると金製や銀製  
が一般的になり、それに寶石  
などを嵌めたものも作られま  
した。もつとも9世紀頃まで  
は陶磁器や木製のものもあつ  
たそうです。映画の「インデ  
イー・ジョーンズ 最後の聖  
戦」で登場した聖杯も木製で  
したが、宗教改革者ツヴィン  
グリも木製のものを使ったそ  
うです。現在のようにな形にな  
ったのは14世紀だそうです。

初期の時代のパテン (Patén  
聖皿) は、会衆から献げられ  
た大きなパンを受けるために  
かなりの大きさだったようで  
す。しかし中世中期になりま  
すと、パン(聖体)が種なしの薄  
いものになった関係で、パテ  
ンも小さくなったようです。

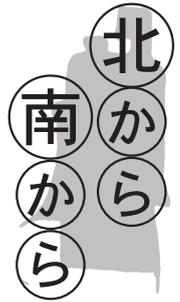
最後の晩餐の記事のように、  
聖別されたぶどう酒は一つの  
杯より飲むのが正だとされて  
います。なぜなら主イエスは  
「皆、この杯から飲みなさい」  
(マタイ26:27)と言われたから  
です。プロテスタント教会で  
個人用のカップを用いる所が  
ありますが、主として衛生的  
見地から19世紀に米国で始め

られたもの  
です。しか  
しこれでは  
「分ち合  
う」という  
意味を弱め  
てしまうと  
言う批判も  
あります。  
(教区主教)



(仙台基督教会：チャリス・パテン)

(教区主教)



### 青森聖アンデレ教会

6月5日聖霊降臨日に宣教開始130周年記念を祝いました。3名の方が洗礼、うち1名はあわせて堅信を受けられて、共に初陪餐に預かりました。また信徒お二人の逝去記念と宣教のためにとクラシックオルガンが寄贈されました。

記念品にしたブレスレットのロザリオは、信徒や幼稚園の先生たちの手作りです。特に受洗した小学生の石場愛莉さんは15個も作りました。大きなお恵みに感謝に満ちた一日でした。

### 釜石神愛教会

釜石神愛幼児学園が釜石神愛教会の附属から社会福祉法人になって10年が経ちました。東北教区唯一の保育園として頑張っていますが、少子化と共に年々園児数が減り、運営的にはとても厳しい状況が続いています。保育園ですから0歳6ヵ月から就学前までの

子どもたちの元気な声が日々の救いになっていきます。これからも神様と皆様に応援していただきながら頑張っていきます。

### 大館聖パウロ教会

過日オーガスチン戸枝正樹さんの逝去記念式が行われました。またいつかその人に会えるという教会の信仰について越山司祭がお話をされ、感謝と共に戸枝さんの思い出が蘇りました。

幼稚園改築に伴い古い資料を整理しています。大正時代の礼拝日誌等から、何度も苦難を乗り越えてきた教会と幼稚園の歴史の中に、情熱をもつて携わった人たちのことを思います。続いてきたこの灯を消すことなく導いてくださいと願うばかりです。

### 山形聖ペテロ教会

4月17日、加藤主教様の司式の下、三年ぶりにイースター礼拝を開催できました。普段より多い15名で賛美と祈りを献げ、感謝に堪えません。祭壇の壁紙の劣化が進んでいましたが、信徒の方の献品でピンク地の花模様に入れ替わり、茶色の板壁と調和がと

れ明るく雰囲気の様変わりしました。112年使用された壁紙の裏には砂埃が堆積しており、受け継がれてきた歴史の重みを感じ、更なる継承を願いました。

### 福島聖ステパノ教会

5月1日(日)に仙台聖フランシス教会と当教会との説教交換として、李司祭が来福され、素晴らしい説教と礼拝を共にすることができました。またこの日は礼拝後に、李司祭と一緒に来られた信徒の方によるオルター研修が行われ、

神様に奉仕することへの心構えと感謝を学ぶことができました。これらの交わりから、ますます一人一人の信仰が強められたことを感謝しつつ、この恵みがさらに広がるようにとお祈りいたします。

### 聖ペテロ伝道所

今春から第一土曜日と第三日曜日に聖餐式が行われることになりました。少人数の私たちのために感謝いたします。今の季節は庭の花が美しく咲いています。特に変わったことといえば、道路を挟んだ隣のゲームセンターが取り壊され、この度薬局チェーン店に

towada lakeside  
mountain  
**十和田湖畔 ヴァイアル山荘利用案内**  
TOWADA-LFMG, the diocese of TOHOKU, NSKK

新しいヴァイアル山荘が、いよいよ利用可能となりました！  
教会や学校の行事、ご家族ご友人とご一緒に、どうぞご利用ください。  
詳しい利用の案内は、QRコードから教区ホームページ、もしくは教会・関係施設へ配布しているリーフレットをご覧ください。

**利用料金**

	大人 (19歳以上)	中高生 (13~18歳)	3歳~小学生 (3~12歳)	乳幼児 (2歳以下)
1泊	2,000円	1,500円	1,000円	無料
日帰り	1,000円	750円	500円	無料

**利用可能期間**  
毎年5月第1土曜日-10月下旬

詳細・申込書  
(教区HP)

### 永遠の平安

なりました。深夜0時まで開いているので、明るくて治安が良くなったように思います。

アンブローズ 橋本 文幸  
(5月1日・郡山)

### 7月逝去者記念聖餐式

7月5日(火) 午前10時  
於 主教座聖堂  
司式 吉田 雅人 主教  
説教 李 贊熙 司祭

司祭 松島 篤

1943年7月5日逝去

司祭 ペテロ片岡 常吉

1973年7月11日逝去

司祭 ヨハネ野村 義雄  
1962年7月14日逝去

司祭 William F. Madeley  
1939年7月22日逝去

司祭 ペテロ佐藤 公平  
1981年7月26日逝去

司祭 James Hubbard Lloyd  
1951年7月27日逝去

執事 ペテロ林 国男  
2010年7月30日逝去

7月10日(日)は「海の主日」です。すべての船員の安全と福祉のため、またそれを支える団体・人々のため、祈り、献金をお献げください。